

Mainzer Freunde für Japan e.V.

<http://www.mainzer-freunde-fuer-japan.de/>

私たちは日本チェルノブイリ連帯基金の福島支援プロジェクトを応援します



JCF

JAPAN CHERNOBYL
FOUNDATION

日本チェルノブイリ連帯基金・団体概要

医療支援団体。チェルノブイリ原発事故、白血病や甲状腺がんに苦しむ被災地の子どもたちの命を救おうと1991年設立。ベラルーシ共和国にこれまで90回以上の訪問団を派遣。現地医師に対する医療知識・技術の伝達と医薬品や医療機器の供与を続け放射能汚染地帯の病院を支援してきた。2004年にはイラク支援を開始。イラクでは、1991年の湾岸戦争以降、劣化ウラン弾使用の影響による放射能汚染地帯が拡大しており、小児がんや白血病の患者が増加している。そのため、イラクの4つの小児病院への医薬品支援、難民キャンプでの診察を行っている。

東北関東大震災での活動

緊急支援として、大震災直後から福島第1原発30キロメートル圏内に位置し屋内退避区域の南相馬市を拠点に医療支援と支援物資輸送・炊き出しを実施した。避難所や南相馬市立総合病院における外来での医療支援は、2011年5月末まで継続された。現在の主な活動は次の通りである。



放射線による健康被害の軽減

- ①ガラスバッチを妊婦、乳幼児、子どもたちに配布。1ヵ月ごとに外部被ばく積算量を測定し、生活のアドバイスを提供している。
- ②ガイガーカウンターを貸与し、市民による身近な場所の放射線量率の測定を促進。保護者の測定によりホットスポットが発見された幼稚園では、除染作業が行われた。



福島の子どもの診察と検診

カタログ・ハウスが行った夏休み保養に協力し、希望者130名の診察を実施。信州大学医学部小児科の協力を得て、毎週月曜日に各4名、検診が継続している。

食品汚染の測定

食品からの体内被曝を防ぐために、食品放射能測定器によって測定を実施している。

日本チェルノブイリ連帯基金ホームページ <http://jcf.ne.jp/index.html>

スタッフブログ <http://jcf.ne.jp/cp-bin/blog/>

代表理事鎌田實医師のブログ <http://kamata-minoru.cocolog-nifty.com/>